

YIC 利用案内

行政相談 (毎月 第3日曜日)

13:00-16:00(要予約)



ビザ(在留資格)の申請・変更、在留期間の更新、永住申請、国際結婚、国際離婚、日本国籍取得、帰化申請など行政手続きに関する相談。

2021年度 相談日 (行政相談)

2021年 5月16日(日) 6月20日(日) 7月18日(日)
8月15日(日) 9月19日(日) 10月17日(日)
11月21日(日) 12月19日(日)
2022年 1月16日(日) 2月20日(日) 3月20日(日)

賛助会員

YICの活動にご賛同いただける賛助会員を募集しております。是非ご入会頂き、多くのご支援ご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

- ◆年度会員制 ◆賛助会員特典あり
- ◆会費：個人一口 3,000円 団体一口 10,000円

生活相談

開館時はいつでも受付



生活で困っていること、日本文化で分からないこと、どこに相談すればいいか分からないこと...etc.YICスタッフがうかがいます。

翻訳

YICに登録するボランティアおよび職員が、日本語から外国語、または、外国語から日本語への翻訳をお手伝いします。

◆翻訳料:1枚(800字程度)につき 2,000円

☆翻訳ボランティアは随時募集中です。どの言語でも登録できます。

日本語サークル利用者数 (令和2年3月~令和3年2月)

活動実数	ボランティア先生161名	学習者 338名
授業延べ回数	4164回	
学習者地域別	アジア90.9%、南米5.9%、北米1.6%、EU1.6%	
学習者在留資格別	就労関係64.5%、家族滞在17%、永・定住15.8%、配偶者2.7%	
学習者年齢別	10代0.8%、20代54.2%、30代33.8%、40代8.1%、50代1.9% 60代1.2%	

四日市市外国人人口数 (令和3年2月28日現在)

国籍	人数	割合	国籍	人数	割合
ブラジル	2,371	22.5%	その他	2,868	27.2%
ベトナム	1,578	14.9%	総合計	10,537	3.4%
中国	1,477	14.0%	市総人口	310,916	
韓国	1,415	13.4%			
フィリピン	828	7.9%			
上位合計	7,669	72.8%			



よっかいちこくさいこうりゅう
四日市国際交流センター

Yokkaichi International Center

〒510-8601 三重県四日市市諏訪町1-5 四日市市役所北館5F

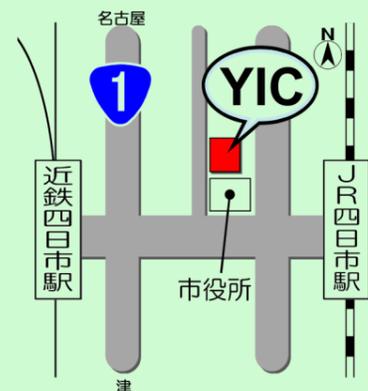
【TEL】059-353-9955 090-6572-9440

【FAX】059-355-5931

【E-mail】yic@yokkaichi-shinko.com

【URL】http://www.yokkaichi-shinko.com/yic/

【開館】9:00~17:00 (月曜日、祝祭日、年末年始は休館)



国際交流ニュース

SALVIA



No.68/2021.4

発行
公益財団法人四日市市文化まちづくり財団
四日市国際交流センター
Yokkaichi International Center

令和2年度 YIC日本語サークル発表会

令和3年3月14日(日)「YIC日本語サークル発表会」をオンラインで開催しました。9人の外国人学習者が、ふるさとの魅力や日本での生活・日本語学習の方法などを映像を交えて紹介しました。

【日本に来た理由】



スワンティさん
(インドネシア)



インドネシアの家族も見てくれたので、安心して発表ができました。家族がいつも応援してくれるので、日本語の勉強をがんばることができています。



【日本での暮らし】



リンさん
(ベトナム)



とてもドキドキしました。画面上にみなさんの顔がたくさんあって緊張しましたがオンラインで発表ができたこと、とても嬉しく思います。ありがとうございました。



【日本語の勉強がんばってます】



アリソンさん
(パラウ)



発表会の内容を考えることは、自分にとって文法を学べるいい機会になりました。週に一回の勉強の中でまち子先生からしっかり文法を学べたので、よかったです。

【日本との教育の違い】



ジェフさん
(フィリピン)



荒木先生の助けがあって発表を終えることができました。台本を作ったのですが字が小さすぎたので、もし次の機会があったらもっと大きな字で用意したいと思います。(笑)

【日本での生活経験と日本語学習】



イナヤティさん
(インドネシア)



日本語でスピーチをするのは初めてでした。最初は緊張しましたが、家族のサポートもあり楽しかったです。北住先生のご支援・先生方のコメントにも感謝いたします。

【スリランカの紹介】



ディランさん
(スリランカ)



初めての経験でしたが、とてもおもしろかったです！渡辺先生が今回の発表内容についてたくさんアドバイスをくれたので、自信をもって発表することが出来ました。

【台湾と日本の食文化の違い】



許さん
(台湾)



内容に関して野崎先生に相談させてもらい、自分の思いをお届けすることができました。日本語に自信がありました。日本語に自信がありました。日本語に自信がありました。

【コナン君と旅行をしましょう】



呉さん
(中国)



YICに到着した時はとてもドキドキしていましたが、パソコンの前に座ったら一気に緊張がとけて落ち着いて発表することができました。

【日本語の勉強の仕方】



グエンさん
(ベトナム)



発表会当日まで毎日練習を行い、発表内容を暗記したのですが、緊張で忘れてしまったところが多かったです。これからN1の勉強にむけて頑張っていけたらと思います。



【講評】服部まち子さん

発表者のみなさんが時間をかけて準備を重ね、発表してくれたことにとっても感銘を受けました。来年も発表会ができるよう、日本語学習を共にしていけたらと思います。

YIC日本語サークル

四日市国際交流センターでは、日本語ボランティアと外国人学習者が日本語を学習する「YIC日本語サークル」を毎日開催しています。学習者のニーズに合わせてマンツーマンで学習しています。

私のボランティア活動



井立秀則さん（学習者の写真は、右ページ）

インドネシア人のファイズさんとは、日本語能力試験N2の合格を目指して指導してきました。今回めでたくN2に合格することができ、YICのスタッフや会社の方々からほめていただきました。彼の言語能力は素晴らしく、日本語の会話も流暢です。

最近は仕事が忙しくて日本語学習がままならないようですが、さらなる上級を目指して頑張ってもらいたいと思います。

おもしろエピソード

今日の1万円より日本語学習

北住五郎さん

ギャット君は技能実習生として来日、3年後無事に契約満了しベトナムへ帰っていった。今は母国の日系企業で働いている。彼と日本語学習を共にした期間は楽しくもあり、ハラハラもさせられた3年であった。その一例。熱心に教室に通っていた彼が急に顔を見せなくなった。「どうしたの？」とメールしたところ、「いいバイト見つけた。ちょっと危険だけど1日1万円なんだ」と自慢げな返事。そこで「今日の1万円より、3年後の10万、20万円が大事。教室に戻って一緒に日本語やろう」と諭したところ日本語学習に帰ってきてくれた。



関ヶ原鍾乳洞にて（左）ギャット君

そうこうしながら、帰国時にN2を取得。今も社内の日本語文書の添削を厚くましても言ってくる。そんな彼が懐かしくもあり、愛おしくもある。

おいしいお店は万国共通

岩田麻里子さん

さまざまな国の料理を食べることが好きな私。ときには、学習者の方の家庭料理や、手作りの正月料理をいただくこともあり、知らなかった食文化に触れられ、刺激を受ける日々です。

以前、他県のお店で食べたベトナムのサンドイッチ、バインミーがとてもおいしく感動したので、その話をベトナム人学習者の方にしたところ「自分もおいしいバインミーを食べた」と写真を見せてもらいました。「あら、このお店、見たことある」。場所を聞くと、まさに私が行ったお店と同じ。おいしいお店は万国共通なんだと納得したのでした。



スパイスの違いにビックリ

大久保琴美さん

フィリピン出身のラケルさんとランスさん親子とのレッスンは、3年目に入りました。初めてお会いした時はランスさん17歳、ラケルさん35歳のとても若くて美人なお母様に本当に驚きました。日本語を教えながらもフィリピンでの国の様子や英語やタガログ語を教えてください、いつも楽しい授業の時間を過ごしています。



特にラケルさんとは、主婦同士という事もあり料理の話で盛り上がっています。そこに食べ盛りのラケルさんも加わり、最後にはみんなで「お腹空いたね。ランチは何食べる？」という話題で終わります。ときにはお料理交換もしました。ラケルさんは「鶏肉のフィリピン料理」、私からは「肉じゃが」です。スパイスの違いにお互いビックリしています。1番驚いた料理は、お正月にフィリピンでは普通の家庭でも作るという「レチョン」と呼ばれる子豚の丸焼きです。美味しそうなのですが、豚そのままの姿にどうやって料理するのかの説明を長々と聞いてしまいました。また、多くの親戚の人達とお祝いする様子に楽しさが伝わってきました。これからもお二人の日本語の上達のお手伝いと楽しいおしゃべりで続けていきたいと思っています。そして、日本がもっともっと好きになってくれる事を願っています。



学習者紹介

- ①なまえ
- ②国名
- ③日本に来ておどろいたこと
- ④日本語で好きな言葉



- ①ソーイ
- ②イギリス
- ③多くの人が列をつくって電車を待つこと
- ④「しばづけ（漬物）」（発音が好き）



- ①クリスティーナ
- ②ペルー
- ③日本のバス（車いすの人が乗るときに運転手が手伝ってくれる）
- ④「さくら」（桜の花はともきれいです。ペルーでは見たことがありません）



- ①パノイ
- ②カンボジア
- ③日本の木（桜などすごく綺麗なものがある）
- ④「気になる」（体調が悪いときに周りのみんなが心配してくれ、優しさを感じたから）



- ①オライオン
- ②アメリカ
- ③コンビニが多いこと。みんながやさしい。
- ④「だいじょうぶ」



- ①ヤング
- ②フィリピン
- ③おいしい食べ物（そば・カレー）がある
- ④「かわいらしい」（うれしい気持ちになり、笑顔になります）



- ①ジンヒ
- ②韓国
- ③台風で木が倒れたのを見たとき
- ④「ごめんなさい」（子どもたちが言うときの発音がとてもかわいい）



- ①バグス
- ②インドネシア
- ③スーパーのレジや駅のホームで一列に並んでいること
- ④「お元気ですか」（毎日、仕事前にリーダーが声をかけてくれます）



- ①ファイズ
- ②インドネシア
- ③水道の水を飲むこと
- ④「おねがいします」（日本人が小さなことでも頼むときに、よく使うから）



- ①スラチャイ
- ②タイ
- ③赤信号で正直に待っていること
- ④「いらっしゃいませ」（自分が特別扱いられているような楽しいきもちになる）



- ①ジャン
- ②台湾
- ③日本のバス（安全運転で「うごきますよ」「右に曲がります」など運転手が説明しています）
- ④「いかがでしょうか」「ご存じですか」（丁寧な言葉を聞くと、上品な感じがします）



- ①黄芳
- ②中国
- ③クラクションをならさずに運転している。
- ④「お疲れさまでした」（相手をねぎらう気持ちがあり、よく使う言葉だから）



- ①ゆめ
- ②中国
- ③エスカレーターに乗るとき、日本人は順番を守って並んでいる。
- ④「一期一会」（人と人の出会いを大切にすることが人生において重要なこと。今の自分に向き合うのも重要）



- ①スミタ
- ②ネパール
- ③きれいで、日本人はとても礼儀正しい。
- ④「だいじょうぶです」「よろしくおねがいします」「ありがとうございます」



- ①フェン
- ②ベトナム
- ③日本はいつも静かです。どこでも山と海が見えます。紅葉と桜がきれいです。
- ④「こんにちは」（日本人はよく使います。嬉しい気持ちになります）



- ①リエン
- ②ベトナム
- ③どこでもトイレが綺麗
- ④「春爛漫」（花が咲いて、あたたかい気候が好きだから）



- ①コン
- ②ベトナム
- ③景色がきれい
- ④「お世話になりました」「ありがとうございます」（ベトナムでは何度も言わないからびっくりした）



- ①ナム
- ②ベトナム
- ③新幹線の速度が速いです。日本人の働き方は、とても厳しいです
- ④「励まし」（お父さんに電話するたびにいつも励ましの言葉をもらっているから）



- ①ロレナ
- ②ポリビア
- ③日本のバスは、きれいでエアコンがついています。
- ④「がんばります」（日本でずっと暮らすために日本語をがんばっておぼえたいから）



- ①シュアン
- ②マレーシア
- ③日本人は一生懸命仕事をします。知らない人同士もあいさつをします。
- ④「かんべき」「げっこうちょう」（元気になるから）

令和2年度 イベント

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響によりオンラインでイベントを開催しました。人気イベントの「コーヒープレイク」「日本文化探訪」や外国人同士が交流を図る「しゃべり場」を紹介します。新年度も、コロナ禍の状況を見ながらイベントを計画していきます。皆さんの継続的なご支援とご協力をお願いします。



【日本文化探訪】津軽三味線 2020年9月6日 参加者16名

約450年の歴史がある日本を代表する楽器「三味線」の紹介を四日市市の観光大使であるKUNI-KENを講師に迎え実施しました。三味線の種類や歴史の紹介と「津軽じょんがら節」やオリジナル曲「疾風烈火」などの演奏を披露していただきました。

(参加者からの感想)

- 思っていたよりたくさんの演奏を聴かせていただけて、楽しかったです。お話も楽しく、三味線が分解できるなど初めて知ることも多かったです。楽しいイベントをありがとうございました。
- 初めてのオンラインイベントへの参加でドキドキでしたが、楽しかったです。津軽三味線の事は、まだまだ知らないことが多く、新たな魅力を発見できました。

【日本文化探訪】箏 2020年10月4日 参加者13名

約1300年の歴史がある日本を代表する楽器「箏」を生田流箏曲麗明社大師範の麗明智翔さんを講師に迎え実施しました。「琴」と「箏」の違いから楽器の歴史や楽譜の紹介、日本の正月の定番曲「春の海」などの演奏を披露していただきました。

(参加者からの感想)

- 調弦の大変さや日本の音階・譜面など多岐にわたり解説していただき、また演奏も聞かせていただきあっという間の1時間でした。



【日本文化探訪】尺八 2020年11月1日 参加者6名



2019年に三重県文化新人賞を受賞された竹内洋司さんを講師に迎え、日本の木管楽器である「尺八」を紹介していただきました。尺八の構造・音の出し方・歴史・楽譜を詳しく解説していただき、古典曲からジャズ・アニソンなど様々な楽曲を演奏していただきました。

(参加者からの感想)

- 伝統を生かしながら現在の尺八の音色に魅了されました。ありがとうございました。
- 和楽器のみならず洋楽器と共演される竹内さんの今後ますますの活躍に期待しています。
- KUNI-KENや麗明さんと共演した和楽器クインテットが見てみたいです。

しゃべり場

毎月1回



8月から毎月1回、テーマを決めて外国人同士が日本語でおしゃべりをする「しゃべり場」を開催しました。回を重ねるごとに参加者の交流が深まり、一緒に買い物や市内各所に出かけたりしています。

今後も引き続き「しゃべり場」を開催します。市内の外国人とおしゃべりをしたい方の参加をお待ちしております。



【コーヒープレイク】カナダ

2021年1月17日 参加者22名

三重県国際交流委員のウー・ロナルドさんを講師に迎え、故郷カナダについて紹介していただきました。わかりやすい英語とたくさんの美しい写真によりカナダの魅力に参加者に伝えていただきました。また、四日市市がオリンピックのカナダ体操チームの事前キャンプ地になることを市職員にPRしていただきました。

(参加者からの感想)

- とても楽しいプレゼンテーションでした。ありがとうございました。
- 分かりやすい英語と沢山の美しい写真でカナダの国を紹介されていてカナダの大ファンになりました。いつか、旅行したいと思います。



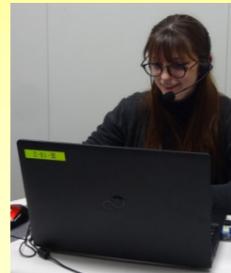
【コーヒープレイク】アメリカ

2021年3月7日 参加者49名

三重県国際交流委員のシール・アイビーさんを講師に迎え、故郷アメリカ・ウィスコンシン州について紹介していただきました。ウィスコンシン州の自然や文化、恒例行事などをわかりやすい英語でお話していただきました。

(参加者からの感想)

- たくさんの美しい写真とトークの楽しさであっという間に時間がすぎました。
- コロナ禍でアメリカ旅行を断念しましたが、今日参加してアメリカ・ウィスコンシン州へ旅行した気分を味わえました。



外国語講座

令和2年度の外国語講座は、秋と冬の2期に分けて、英語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・中国語の講座を行い、のべ187人が受講しました。例年、3期に分けて開講していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を少なくして2期の実施となりました。また、オンラインによる講座概要説明(講座紹介)も行いました。



『スペイン語講座』 担当：古川マリア先生

令和2年度からスペイン語講座を担当しています。ペルーのクスコ出身です。日本に来て25年になります。四日市市に住むようになって、市内の高校で日本語を勉強しました。スペイン語とペルーの文化について、長年、教えています。スペイン語は、世界で2番目に多くの人たちが話している言語です。今年、5月から開講する「はじめてのスペイン語」では、簡単な会話やネイティブな発音、ペルーの文化とラテン・アメリカの文化なども紹介しますので、興味のある方は、ぜひ参加してみませんか。私と楽しくスペイン語を学びましょう。

YICのラウンジ壁面を利用して、プチ展示会を行いました。「パッチワーク」「タペストリー」「スチームパンク彫刻」「伊勢型紙」「手まり」などの作品を月替わりで展示しました。なお、展示出展者の募集を随時受付しています。どうぞ、お気軽にお問合せください。

ラウンジ展示



パッチワーク



タペストリー



スチームパンク彫刻



伊勢型紙



手まり

YICボランティアエッセイ

夢の実現を目指してGO！！

伊藤英彦さん

ピセット君（31歳）とYICで初めて出会ったのは、2013年2月の寒いときだった。



カンボジアから技能実習生として来日し、建築機材のレンタル会社で働き、1年半を過ぎたころ「日本語検定試験N3の受験勉強をしたい」とYICを訪れたのであった。N3を無事合格し、N2の勉強を開始したのだが、2014年8月には帰国することが決まっていた。将来の事など色々話をしたが、帰国後は確たる仕事のあてもなく「バイクタクシーでもやりますよ」という寂しげな言葉が印象的だった。

2014年4月、私の知人で日本の中古品の農業機械を再生販売している社長から「今、タイに輸出しているが、今後カンボジアにも販路を広げたいが適任者はいないか」と相談を受けた。ピセット君にその話をしたところ「是非やらせて欲しい」ということになり、社長に紹介し現地責任者としての勉強が始まった。帰国の3カ月前からは、輸出入の手続きや会計など会社経営のための必要最低限の勉強に切り替えた。

カンボジアに帰国後、プノンペンでただちに会社設立の準備に取り掛かり、現地の役所に何十回と通いやっと設立の許可を取付けた。その後、再来日して機械の解体修理復元の実習と耕運機・田植え機・脱穀機などの実地運転操作の実習などに励んだ。



新たな人生をスタートさせるためにプノンペンで小さな工場を借上げた。コンテナで日本から分解されて送られてくる機械を完成品に組



み立て、試運転をして、それを写真に撮りバイクに乗って田舎の農家に売り込みに行く仕事を一人で始めた。

それから苦節6年。並々ならぬ苦勞を重ねた末、昨年念願の工場を建てた。従業員も雇いバイク営業が乗用車に代わり、元気に現地社長として頑張っている。

夢の実現を目指しているピセット君にエールを送りたい。

私の国際交流活動

水田芳男さん

会社に勤務していたころは、欧米を中心に何度か出張することがありました。定年退職して行政書士を開業したときに四日市国際交流センターの存在を知りました。センターが主催する外国語講座の中国語やハングル、そして英会話を履修して、日本語サークルのボランティアとして活動を始めたのは2005年でした。

最初に担当したのは、駅前留学NOVAの先生でオーストラリア人でした。いなべ市にある聖宝寺の紅葉を一緒に訪ねたりしました。



四日市国際交流センターで長年ボランティア活動をされている方に、外国人との交流に関するエッセイをご寄稿していただきました。

このころのセンターでは12月にクリスマス会がホテルで開催され、楽しく過ごしました。

技能実習生制度が始まり、中国やブラジル・バングラデシュの人々を担当させていただきました。学習者と海蔵川のお花見に出かけました。



日中友好協会の主催する中国旅行にも参加しました。清華大学などで日本語を学ぶ学生たちと懇談したり、四日市市の友好都市である天津市の人たちと交歓できたことも嬉しい思い出です。

今は、ベトナムの女性を担当しています。なかなかの頑張り屋さんで、日本語能力検定試験3級に合格し、現在2級にチャレンジ中です。今年の夏には帰国予定ですが、コロナ禍でLCCが無くなり、航空運賃が来日時に比べ格段に上昇してしまい、困っているようで可哀想です。



私の健康法は、カ（感動）キ（興味）ク（工夫）ケ（健康）コ（恋い）の5本立てです。これからはタクシーでの図書館通いとネットサーフィンなどお金のかからない贅沢を楽しみ、時代に遅れないように頑張るつもりです。モットーは【和而不同】です。

姉妹都市・ロングビーチ市 オンライン交流会



四日市市は、1963年10月にロングビーチ市と姉妹都市提携を結び、1965年から高校生二人と教師一人の三人を隔年で交互に派遣する事業（通称トリオ）を実施してきました。

令和2年度は、四日市市からトリオを派遣する予定でしたがコロナ禍により延期されました。その代わりにの事業として2016年にロングビーチ市に派遣されたメンバーの西尾亜利紗さん（橋北中学校教諭）、吉川拓樹さん（大阪大学3年）、田中映帆さん（早稲田大学2年）と現地のホストファミリー3家庭が令和3年2月27日（土）にオンラインにより交流しました。

派遣当時の心に残った思い出や現在の活動状況を英語で紹介しました。参加者からは「お世話になったホストファミリーの顔を久しぶりに見て、懐かしい気持ちになりました」「今後派遣される人たちも異国の地で失敗を恐れずに挑戦する大切さを学んでほしい」と感想を寄せていただきました。

